

エコパルなごや 冬号

VOL.49

かんきょうをたのしく学ぶ

特集 省エネルギーについて考えよう

寒い冬の季節がやってきました。

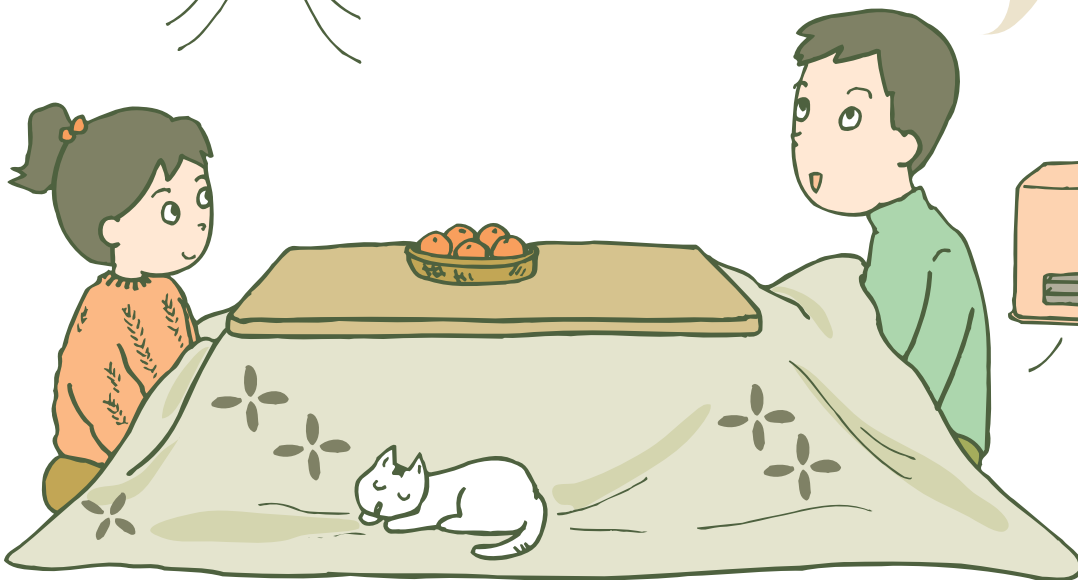
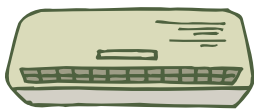
皆さんの家庭でも、ストーブや、エアコン、こたつ、カーペット
いろいろな暖房器具を使って寒い冬を乗り越えていくことと思います。

人間は、今まで自分たちの生活を快適に送ることに一生懸命になることがあっても、
地球に対しては、なにか配慮してきたことはあるのでしょうか？

地球に優しい行動といっても、今までの行動よりは、
少し地球環境への負荷を減らしてきたということなのです。

私たちは、毎日普通に生活する中でも、エネルギーを消費し、
何らかの負荷を地球に与え続けています。

人類がこの地球で長く生き続けるための知恵として、
私たちが日ごろから出来る省エネルギーについて
考えてみましょう。



いろんな話題、お届けします。

特集 省エネルギーについて考えよう

なごや環境大学 エコロジーワンデイツアーの紹介

エコパルNEWS ワークショッププログラム「廃油せっけんづくり」、マンスリー企画展示

省エネルギーについて 考えよう!

今あるエネルギーが使えなくなったら?

今私たちは毎日、エネルギーを生み出す原料となる石油や石炭などの地球上の限りある資源を減らし続けています。でも私たちは、将来は新たなエネルギーが開発され、もっと便利な生活になっているはず?と心の中では期待しているのでは…。

もし化石燃料が無くなるまでに、新たなエネルギーが発見されなかったらどうしますか?自分が生きている間は大丈夫かもしれないが、将来そのときが来たら?

不便なく生活できている今こそ考え、今出来ることから始める必要があります。

なぜ、今エネルギーの節約が必要か?

環境問題の発生

私たちは、エネルギーを作るために化石燃料を燃やします、その際化石燃料に含まれている有害な大気汚染物質が生み出されるとともに、地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素も排出されます。特に二酸化炭素の排出は、今から削減しなければ、将来人類の生存が危ぶまれ、気がついた時には後戻りできなくなっているかもしれません。

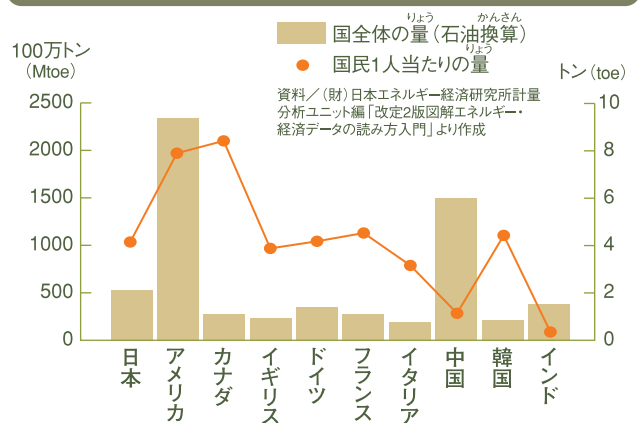
化石燃料の枯渇

私たちが、普段何気なく使っている電気、ガス、ガソリン、水などは無限でしょうか?

昔はエネルギーを作り出すため、自分たちの周りの木を燃料にしてきました。それを使い果たして文明社会が崩壊し、古代都市が滅亡したといわれる歴史もあります。木が化石燃料に変わり、その減少や変化は日常的には見えないかもしれませんが、このままでは、同じ歴史が繰り返される可能性があります。

また世界で力のある国のみが、化石燃料を占有し、そのために世界各地で燃料争奪のための争いが起きることも心配されます。

主な国別のエネルギー供給量の比較



2005年現在の国別エネルギー消費量は、アメリカ、中国、日本、インドが多い。しかし、1人当たりでは、カナダ、アメリカ、フランスが多く、中国、インドは少ない。将来、中国やインドなどで1人当たりの使用量が欧米並みに増えたら…。世界のエネルギーの消費量は?そして二酸化炭素の排出量は?

環境問題や化石燃料の枯渇を防ぐためには、何をすればいいのでしょうか?

化石燃料の使用速度を落とすことで環境は改善出来ます。それには毎日の生活の中で、出来るだけエネルギーの消費を減らすことです。これが省エネルギーです。本来省エネルギーとは、現在の生活レベルを変えずにエネルギーの使用量を減らすことです。環境への負荷が少ない新たなエネルギーが開発されるまで、今ある資源を有効に大切に使うことです。

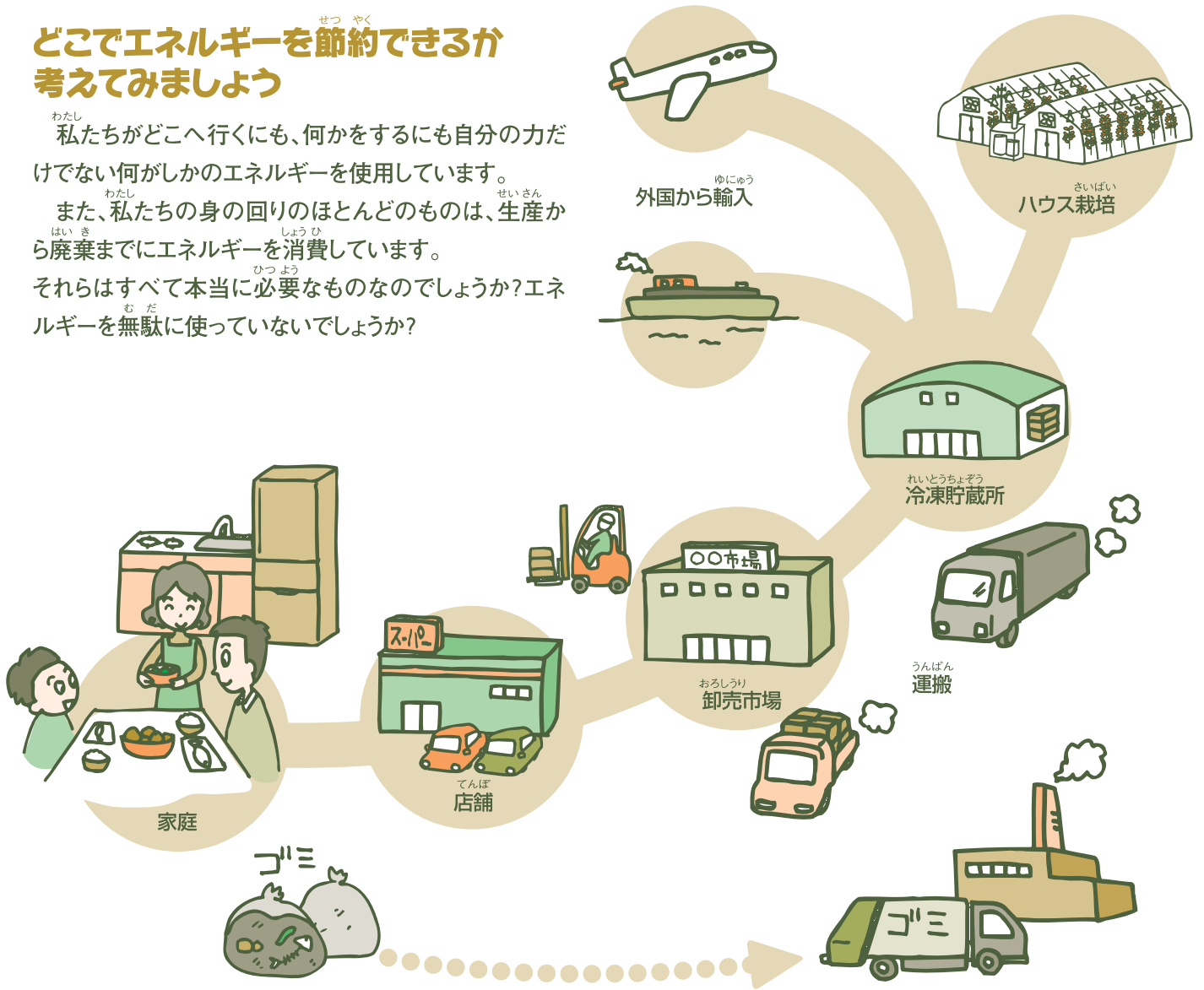


どこでエネルギーを節約できるか 考えてみましょう

わたしがどこへ行くにも、何かをするにも自分の力だけでない何かのエネルギーを使用しています。

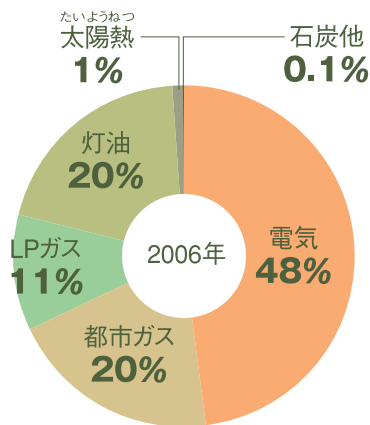
また、私たちの身の回りのほとんどのものは、生産から廃棄までにエネルギーを消費しています。

それらはすべて本当に必要なものなののでしょうか？エネルギーを無駄に使っていないのでしょうか？

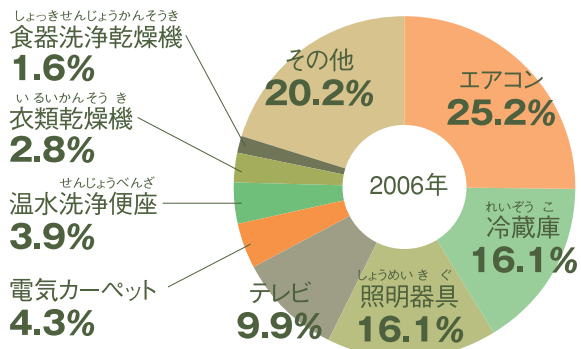


エネルギーを使って遠いところのものよりも、できるだけ地域のものを。
《地産地消》その地域で作られた農作物・水産物をその地域で消費すること。

私たちの家庭生活の中でエネルギーは、どこにどれだけ消費されているのでしょうか？



家庭のエネルギー消費



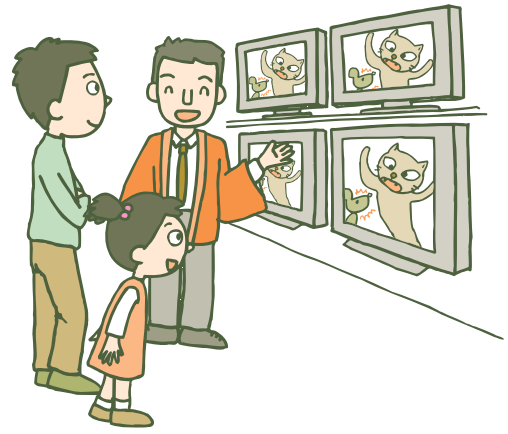
電気使用量の内訳

資料／(財)日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」、
資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」
出典／資源エネルギー庁「平成19年度エネルギー白書」より

出所／資源エネルギー庁「平成16年度電力需給の概要」(平成15年度推定実績)
注：割合は四捨五入しているため、合計が100%とは合いません。
出典／(財)省エネルギーセンター NEW「家庭の省エネ大辞典」

エネルギーを使わない、 節約する知恵をしまりましょう

今私たちは、様々な製品を選ぶとき、「快適さ」を求めてその性能に注目しています。その反面でそれがどれだけのエネルギーを消費しているかはあまり注意していないのではないのでしょうか？これからは、製品を選ぶときには、性能の比較の中に、エネルギー消費の大小を加えて考慮することが求められます。



新たに買う時、買い換える時は、省エネルギー商品を選ぼう

省エネラベリング制度・対象製品

この制度は、家庭で使われている製品が国の省エネルギー基準を達成しているかどうかをラベルに表示するものです。省エネ基準を達成した製品には緑色のマーク、達成していない製品には橙色のマークが表示されます。緑色のマークで省エネ基準達成率の数字が大きいほど、省エネ性能が優れた製品といえます。

対象は16製品

エアコン	ガス調理機器	磁気ディスク装置
冷蔵庫	電子レンジ	変圧器
冷凍庫	ガス温水機器	ジャー炊飯器
蛍光灯器具	石油温水機器	DVDレコーダー
ストーブ	電気便座	
テレビ	電子計算機(パソコン)	

ラベリング制度表示例

◎省エネ基準を達成しているラベル



目標年度○○○○年度

省エネ基準達成率
180%

年間消費電力量
○○○kWh/年

◎省エネ基準を達成していないラベル



目標年度○○○○年度

省エネ基準達成率
80%

年間消費電力量
○○○kWh/年

※ラベルが小さい場合には一部情報が省略される場合があります。

統一省エネラベル

販売店の店頭で、エアコン、電気冷蔵庫、テレビについて表示されています。

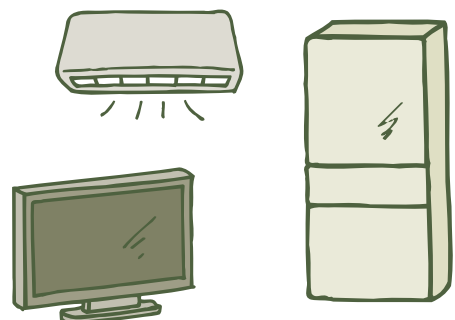
統一省エネラベル表示例



★の数が多いほど省エネ性能が高く、電気料金が節約できます。

省エネ基準の達成度やエネルギー消費効率を表示。

1年間利用した場合の電気料金の目安を表示。



自動車の燃費性能ラベル

ガソリン乗用車などの燃費達成率を示すラベル。達成レベルに応じて、達成率5%以上のものには、5%刻みの数値が表示されています。

表示例



注：排出ガス中の有害物質の低減を示す（低排出ガスラベル）とは異なる。



平成27年(2015年)排出ガス基準の燃費を達成したディーゼル重量車(トラック・バス)に表示されるラベル。



でも、省エネルギー商品を使っているからといって、無駄に今より大型の機種を使う、台数を増やす、長時間使うなどという現在の生活レベル以上の使い方をすれば省エネルギーにはなりません。

私たちが変わらなければ

私たち消費者が進んで省エネ型製品を選択するようになれば、世の中に出てくる多くの製品もより省エネ型に変わるはずです。

また、公共交通機関の充実など、交通システムの変化を求めるなら、私たち自身も、毎日の交通手段としてマイカーの使用を控え、公共交通機関を利用するなど努力しなければいけません。

新たなエネルギーが開発されたら、省エネルギーはしなくていいの？

太陽光や、風力発電などの自然エネルギーなどの開発は、人類にとって、重要なテーマです。そのため、世界で二酸化炭素の削減のために、新たな技術の開発が進められています。しかし、たとえ新エネルギーが将来開発出来たとしても、今までのようなエネルギーの無駄な使い方はやめるべきです。

二酸化炭素の問題は緩和できても、その技術の開発、生産、使用、廃棄に伴い新たな環境問題が生じてくる可能性はあります。地球温暖化の問題は、解決されてもまた新たな環境問題を生じるのでは、単に問題を次に送ったに過ぎないのです。新たなエネルギーから生み出されるエネルギーであっても、その使用はすべて節約(省エネルギー)すべきものです。



人は地球に何が出来るか？

エネルギーを消費する私たちは、エネルギーの無駄遣いを避ける責任があります。特にエネルギー資源が乏しい日本は、省エネルギーに対する認識と技術を持つ必要があります。一人でも多くの人が、省エネルギーへの認識を持つことが、新たな技術開発の原動力にもなります。

人は、これまでの従来の化石燃料に頼った大量生産、大量消費の社会の中では、「安く」、「早く」、「便利」を求めてきました。しかし、この仕組みが様々な環境問題を引き起こしてきました。これからは、省エネルギーに取り組むことで、今より「高く」、「遅く」、「不便」になることも覚悟する必要があるのかもしれない。

でもこれは、地球上で人が生きていくためには必要な覚悟です。

自分たちがこれからも地球で住み続けるために地球に払っていく家賃だと思って！



エコロジーワンデイツアー

リサイクル推進センターとの共催で市内在住の小中学生を対象に、8月に6コース開催されました。
さまざまな場所での見学や体験を通して、楽しみながら環境問題を学びました。

① 竹博士になろう!



8月7日 天白公園など

② 生ごみから野菜ができる!



8月8日 バイオプラザなごやなど

③ 食器ってリサイクルできるの!?



8月19日 山津製陶(株)など

④ きこり体験でヒノキを知る!



8月21日 犬山里山学センターなど

⑤ 集めた古着はどこへ行く?



8月27日 (株)大綿など

⑥ 身近な干潟を体感しよう!



8月28日 藤前干潟など

また、10月11日・12日には、6コースのふりかえりとして、愛岐処分場や岐阜県中津川市加子母のヒノキの森などを見学し、ごみの行方と自然の仕組みについての理解を深めました。



みんなで自然の大切さを学びました!



エコパルNEWS

エコパルなごやには、毎日たくさんの方が来館し、バーチャルスタジオやワークショップを体験しています。
今回は、一宮市西成東小学校4年生のみなさんが、10月21日(火)に来館した時の、
ワークショッププログラム体験の様子を紹介します。

ワークショッププログラム

廃油せっけんづくり体験

《テーマ》水質汚濁 《対象》小学校高学年～大人



使用済みのてんぷら油とオルトケイ酸ソーダをペットボトルに入れて混ぜ合わせます。

エコパルなごやには「廃油石けんづくり」をはじめ、ワークショッププログラムが全部で13種類。すべて無料で体験できます。

ご予約・お問い合わせは「エコパルなごや」までお電話どうぞ。
TEL052-223-1066

楽しい体験が
いろいろとできるよ!



ワークショップは最大48人が同時に体験することができます。
(例外あり)

一生懸命振れば振るほど、いい石けんが出来上がるよ。みんながんばれ!

混ぜ合わせたペットボトルはお家に持って帰ります。2週間経つと、こんな立派な石けん!



作った石けんは、ワイシャツのえり汚れや、靴・靴下の汚れ落としに使えます。



冬のイベントのお知らせ

マンスリー企画展示

エコパルなごやでは、環境問題に積極的に取り組んでいるNPOや企業、学校などの活動を「マンスリー企画展示」として、月替わりで紹介します。

12月

出展者：名古屋市上下水道局
出展内容：食事を「作る」「食べる」「片付ける」の一連の流れの中で、水を汚さないためには？と小学生のみんなが考えた「エコっ子レシピ」の展示を行います。

1月

出展者：第四管区海上保安本部
出展内容：小中学生を対象に行った「未来に残そう青い海」図画コンクールの入賞作品の展示と、海の環境についてのパネル展示。

2・3月

出展者：かしもひのっキオネットワーク
出展内容：木を使って環境を守る?! 加子母で行われている活動紹介と、実際に木に触れて、木を感じてもらおう体験が盛りだくさん。

※出展予定は、変更となる場合がありますので、ご了承ください。

特別ワークショップの開催

1月24日(土) 冬期スターウォッチング

エコパルでバーチャルスタジオ、科学館でプラネタリウムを体験した後、スターウォッチング(星空観察)を行います。



12月は地球温暖化防止月間です

寒い季節がやってきましたね。暖房器具を多くつかうこの季節だからこそ、「地球温暖化」「省エネルギー」について考えてみませんか？ バーチャルスタジオプログラム「地球温暖化 ～いま、私たちにできること～」では、気象予報士の小笠原範光さんが地球温暖化問題についてわかりやすく解説してくれます。地球温暖化を食い止めるために、私たちにできることは何でしょう？

コパと一緒に考えてみましょう！ 楽しい意見交換コーナーもあります。



バーチャルスタジオ新プログラム

地球温暖化 ～いま、私たちにできること～

すでにはじまっている地球温暖化。あなたは50年後、100年後の名古屋を想像できますか？映像を見ながら、地球環境問題について考えてみましょう。

- 対象** 小学校高学年～大人
- 定員** 48人
- 所要時間** 約40分

お問い合わせ・お申し込みは、下記エコパルなごやまで、お電話どうぞ。

スタジオの大きなスクリーンで、迫力ある映像を見よう！



名古屋環境学習センター
エコパルなごや
しょうかい
紹介します
みんなで
あそびにきてね!

エコパルなごやは、ゲームやクイズ、工作など、いろいろな体験をしながら、環境にやさしい行動へのきっかけをつくる場所です。社会見学や団体行事など、環境学習の機会にエコパルなごやをぜひご利用ください。もちろん個人でも自由に入れます(入館は無料)。

※団体予約など、くわしくはエコパルなごやまでお問い合わせください。

ワークショップ
楽しいエコクラフトや実験をとおして、環境にやさしいライフスタイルを発見します。

環境情報コーナー
インターネットや図鑑ソフトを使って、環境に関するいろいろな情報を集めることができます。

ビデオライブラリー
環境に関するビデオを自由に観ることができます。

バーチャルスタジオ
環境オバケ「コパちゃん」のトークで、ドキドキ、わくわくの「生放送」が楽しめます!

相談カウンター
環境学習に関するさまざまな相談ができます。

EXPOエコマネーサテライト
EXPOエコマネーポイントをためたり、たまったポイントをエコ商品に交換したりできます。

企画展示
月替わりで展示される最新の環境情報で新しい発見を。

クロマキースタジオ
地球上の美しい自然や生き物たちの映像「アースビジョン」や、動物たちと一緒に写真が撮れる「クロマキースタジオ」を体験してね!

図書ライブラリー
環境に関する書籍が豊富にそろい、パソコンで専門家の話も学べます。

EXPO Eco-Money Satellite

他にも環境について学べる施設があるよ!

名古屋市リサイクル推進センター

名古屋市リサイクル推進センターは、不用品の交換をすすめたり、3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)に関する図書を貸出したり、みなさんが3Rを進めるためのいろいろな手助けをしています。

所在地 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11-15先 地下鉄上前津地下街
アクセス 地下鉄「上前津」駅 名城線北改札口を出てすぐ
電話 052-251-5300 FAX052-251-5308
E-mail recycle@ppp.bekkoame.ne.jp
URL http://www.nagoya-recycle.or.jp/
開館時間 午前10時～午後6時
休館日 毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

名古屋市環境学習センター

エコパルなごや

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階
(地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅6番出口徒歩5分)

■開館時間/午前9時30分～午後5時 ■入館料/無料
■休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)、年末年始(12月29日～1月3日)

お問い合わせ TEL 052-223-1066 FAX 052-223-4199
http://www.ecopal.city.nagoya.jp/ E-mail: a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp



この情報誌は古紙パルプ配合率70%・白色度70%の再生紙を使用しています。

